

歳時記

雛 ひいな



三月三日、女の子の健やかな成長を願うお祭が「雛祭」。
雛人形を飾り、白酒や雛あられをふるまって祝う。
揚句は全部平仮名で、「陽」を一つだけ漢字にしてやさしい句に仕上げました。

ひなさまにもいろいろの陽のふりそそぎ 井上 則子

今月の推薦句

巣場探す雀の番春隣 林 香澄

雀は繁殖期には番で巢を作り卵を温めます。それを眺めている作者の背にも春が近づいています。

葉箱そつと入れたし花模様 矢野 正治

常用している葉箱に描きたい花模様は何か。中七の「そつと入れたし」に病への回復と春を待つ作者の思いが込められているようです。無季の句ですが季節を感じさせます。

日向ぼこ昭和平成令和かな 桐 友

俳句は「省略」ですが、ここまで省略されても広がるイメージは、やはり季語の持つ力でしょうか。三つの元号を生き抜いたという安堵感と「日向ぼこ」の季語がコラボします。

（選者・評）俳句の三要素は「季語」「定型」「切れ」。でも季語がなければ俳句ではないとは断言はできません。「花模様」の句のように季節感を想像できるから。初投稿の矢野さんの句に俳句の妙、奥の深さ、改めて思います。▽さてさて、来月はもう四月、役場も年度変わります。読者俳句の投稿者もこの五年間で倍増、新たなスタートです。変わらぬ御支援御協力を伏して。
(こころ)

読者俳句

佳作 二十二席

送葬の後に残りし余寒かな 泉 漢
汚れ無し九重の霧氷映え渡る 一 主
寒稽古師匠譲りの技ひとつ 重 吉
余寒なほ一日二合の米を研ぐ 律 子
見開きの観察ノート土筆伸ぶ 豊 國
啓蟄や土の重さを持ち上げる 左 世 美
どなたやら土突き上げて春動く 純 子
すがもりの鐘たおやかに花馬酔木 直 人
春近し八十の電話の若き声 八 千 子
老院の手彫りの花や春うらら ヨウ子
寅年の八方にらみ寒明くる 末 子
唇に触れる風花いたずらか 好 美
楽しみは句友持ちくる露の螢 勝 子
凜と立ち澄みし瞳や春の鹿 トシ子
嫁ぐ娘に整ふ支度梅一輪 次 江
卒業や第二ボタンの君が好き 良 子
掛布団一枚めくる夜半の春 チズ子
風花の舞う坂道や夫忌日 文 子
蓬摘む土手の広がり何程も ムツ子
並べ置く千切大根春寒に ヤスコ
春浅し仔牛最後の競り支度 きくみ
雲切れの秀峰涌蓋残る雪 恒 己

4月号の締め切り／3月25日（必着）



「林野火災を防ごう！」

岡 玖珠消防署 警防係 ☎ 72-2141

林野火災は、例年春先の週末や休日に多く発生しています。原因の一つとして、この時期は降水量が少なく、空気が乾燥し、季節風が吹くなど林野火災が発生しやすい気象状況になっていることが挙げられます。
加えて、火入れやたき火などが多い時期である事が大きな要因であると考えられます。
また、過去に火入れ中に亡くなられた事故もあるので、火入れ・たき火を行う際は以下の事に十分注意しましょう。

①火災警報・強風注意報発令中の場合、火の取り扱いを禁止する条例があり、届出しているもた

き火・火入れは絶対に行わないこと。

- ②乾燥注意報が出ている時や、風が強い日にも、可能な限りたき火・火入れなど行わないこと。
- ③たき火を行うときは玖珠消防署に火災と紛らわしい届出を出し、消火器具の準備や周囲に燃えるものがないかの確認を十分に行う。
- ④火入れを行う前に入念な打合せを行い、計画通りに作業するとともに、万が一に備え避難経路等を周知しておく。
- ⑤もしも区域外に延焼し、消火困難になった場合は、無理をせず安全な場所へ避難し、119に電話をする。